

校長スケッチ

令和6年11月9日（土）

OKAYAMAスマホサミット2024成果報告会



成果報告会でスマホ利用に関する自校の取り組みについて発表する生徒

OKAYAMA スマホ制限 実践発表

中高校生30人 校則改定も計画

子どもたちがスマートフォン利用について考える「OKAYAMA スマホサミット2024」（岡山県教委、岡山市教委、山陽新聞社主催）の成果報告会が9日、岡山市内で開かれた。県内の中高と時間を生徒一人一人が考えた説明。1日平均30人がスマホの長時間利用防止などの取り組みを発表した。

倉敷市立東中は利用削減に向け、スマホを使わない時間を使ってやりたいことや、制限を認められるよう、生徒会が校則改定を働きかける意見書を教員に出す計画を紹介した。

生徒たちは発表後、提言を策定するためグループに分かれて議論。「保護者と子どもが対等に話し合っている」と盛り返む文などについて意見を交わした。2024年度中に県教委が提言をまとめ、県内の学校などに配る。

サミットは14年度から実施している。

（吉川瑠美）

出典：R6.11.10 山陽新聞





スマホ・ネットの適切な利用に関する取組発表と提言作成

OKAYAMAスマホサミット2024



☆OKAYAMAスマホサミット2024成果報告会
11月9日（土） 13:00～16:30（12:30受付）
場所：オルガホール

岡山市のオルガホールで、スマホサミット成果報告会が行われ、本校からも代表生徒5名が参加しました。

今年度取り組んでいる、①情報委員会を立ち上げ、タブレット使用の校内ルールや啓発動画を作成していること、②生徒、教職員、PTA、学校運営協議会委員でスマホ・メディアの使用について討論したこと、③メディアの使い方について考える学級活動をしたことなどを発表しました。とても堂々とした発表でした。

後半は、提言づくりについて、高校生や他校の中学生とディスカッションしました。年度内に県教委から、各方面に向けた「提言」が発表される予定です。